

【市外小学校の部 入賞】

「海の中の世界」

伊賀市立友生小学校 五年

嶋地 克信

海についた

大好きな海につかった

冷たくて気持ちよかった

さっそくシュノーケルをつけ泳いだ

海草がいったばいい

ミミズのようにちよつと気持ち悪かった

でも海の中ではふつうだろう

もぐつておくに進んだ

ちよつと魚が見えてきた

サンゴの中に

色とりどりの魚がたくさんいた

まるで水族館の水そうの中にいる気分だ

でもあぶない魚もいる

それには要注意だ

またおくに進んだ

全然魚に会わない
なぜだろうと考えた

わからなかった

ふり返ってみたらまたいっぱいいた

それもなぜだと思った

泳いで来た所をもどってみると一匹き魚がい
た

その前に魚がいた

追いつけないのかかわいそうだった

いいことを思いついた

自分が一匹きの魚の方に泳いだ

魚はにげた

同じ魚に追いついた

バイバイと手をふった

ぼくはよかったと思った